

福井市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略（概要版）

人口ビジョン

人口減少の現状

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、
- 本市の人口は、2010(平成22)年に26万7千人であったが、2040(平成52)年には21万6千人となり、5万人減少する
 - 年少人口(0～14歳)は、減少し続け、1万人の減、現在の2/3程度となる
 - 生産年齢人口(15～64歳)は、5万5千人減少する
 - 高齢化率は、40%まで上昇し続ける

- 本市の人口は、今後、減少を続ける
- 人口減少の中、極端な高齢社会を迎える



総合戦略に基づく施策の展開

人口減少に立ち向かうべく、本市の特長や強みを活かした施策展開を行う。

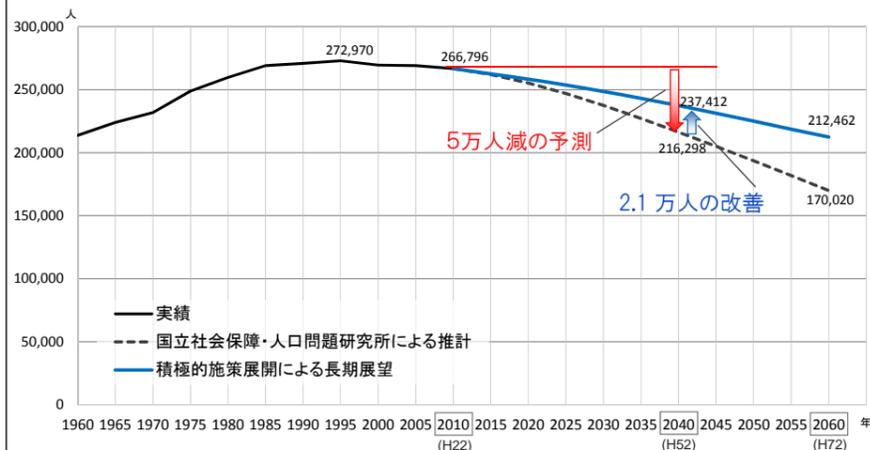


人口の長期展望

【自然動態】国の長期ビジョンより5年程度早く、合計特殊出生率が上昇(2010年1.65を、2025年1.8程度、2035年2.07程度)

【社会動態】2020年を目途に、転入転出が均衡

上記の仮定が実現されると、本市の将来人口の見通しは、次のとおりとなる。



- 2040年の人口は、21万6千人の推計に対し、23万7千人となり、減少幅が2万人程度改善される
- 年少人口(0～14歳)は、減少に歯止めがかかる
- 生産年齢人口(15～64歳)は、減少幅が、1万人程度改善される
- 高齢化率は、36%まで上昇するが、2045年以降、低下する

未来につながる長期的な展望

- 積極的な施策展開により、○少しでも人口減少に歯止めをかける
- 人口構造を若返らせる

総合戦略 — 未来につながる 全国に誇れる福井市 — H27(2015)～H31(2019)

基本目標1 福井の産業の強みを活かし、働く場を創出する

[数値目標] 5年間で1,000人の新たな就業の場を創出

[基本的方向および具体的施策]

繊維王国を支えた福井のものづくりの応援

- 企業力の強化支援、女性に選ばれる商品開発支援
- 新事業の創出

ふとこ深く企業立地を推進

- 企業立地の推進、企業の地方拠点強化

社長輩出日本一の創業支援

- 創業の促進、起業女子への支援
- 事業承継の円滑化

若者が夢をもてる農林水産業の経営安定・人材育成

- 稲作の強化 ○園芸の推進 ○就農者支援
- 伐る森林整備の推進
- つくり育てる漁業の推進

おいしい水に育まれた福井の農産物のブランド化

- 流通販路の開拓 ○福井ブランド化の推進
- 地産地消の推進

[重要業績評価指標(KPI)]

企業立地数、創業者数、新規就農者数、農産物直売所売上高 ほか

基本目標3 福井の優れた環境で、結婚、出産、子育ての希望をかなえる

[数値目標] 合計特殊出生率 全国トップクラスの維持

[基本的方向および具体的施策]

若者の希望がかなう結婚・妊娠・出産の支援

- 出会いの場の創出と結婚意識の醸成、「福井で結婚・出産・子育て」情報発信
- 妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援

住むなら福井。日本一の子育て環境の充実

- 安心して子どもを預けられる環境の整備
- 家庭・地域での子育て応援
- 子育て世帯への経済的支援

子どもの明るい未来のために、全国トップクラスの教育環境づくり

- 子どもたちが夢を持てる教育環境づくり

女性・若者の活躍をしっかり応援

- 女性が輝く環境の整備
- 仕事と家庭が両立できる環境づくり
- 若者のキャリア形成の促進

[重要業績評価指標(KPI)]

婚活イベントカップル成立数、子育てを楽しんでいる人の割合、待機児童ゼロの維持、ワーク・ライフ・バランス事業による支援企業数 ほか

基本目標2 福井の魅力を活かし、新しいひとの流れをつくる

[数値目標] 転入・転出者数を均衡

[基本的方向および具体的施策]

美しい福井を磨き上げ、内と外の交流拡大

- 一乗谷朝倉氏遺跡の魅力向上
- 福井のよいところの利活用
- 賑わいと魅力あふれる中心市街地の形成
- 観光地環境整備
- 中央卸売市場「ふくい鮮いちば」の強化

福井のよいところ発信プロモーション

- 北陸新幹線開業に向けた観光情報発信強化
- 観光を担う人材の育成、シティプロモーションの推進
- 広域観光の促進

日本一リッチな福井へ、都会からの移住・定住を徹底支援

- 住みやすい福井のPR
- 移住・定住のプロセス支援

ふるさとで働こう。人材還流、地元就職の促進

- ライフステージに応じたUターン就職の促進、県内大学生の定着促進
- ふるさと教育の推進

スポーツの祭典オリンピック・国体で地域活性化

- スポーツによる地域活性化

[重要業績評価指標(KPI)]

一乗谷観光客入込数、ハピリン来場者数、本市への移住者数、学生向け事業参加者の市内企業就職数 ほか

基本目標4 県都として中心的役割を担うとともに、時代に合った住みやすいまちを創造する

[数値目標] 福井市に住みたいと思う市民の割合 90%

[基本的方向および具体的施策]

中核市へ移行し、圏域全体の発展を牽引

- 連携中枢都市圏の形成

福井市は県都。県都にふさわしい風格あるまちづくり

- 県都の玄関口にふさわしい都市と景観づくり
- まちなか居住環境整備

住みたい福井市づくりで、生活圏を維持、まちの活力向上

- 公共交通を活かしたコンパクトなまちづくり
- 中山間地域の維持・再生

はじめる、つながる、ひろがる、市民のまちづくり

- 地域活動・ボランティア活動の推進

[重要業績評価指標(KPI)]

連携中枢都市圏の形成、まちなか居住支援件数、公共交通機関利用者数 ほか